

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
下野市	下古山地区	令和3年3月26日	

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	220ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	216ha
③地区内における65才以上の農業者の耕作面積の合計	84ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	16ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	46ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	3ha
(備考)	

## 2 対象地区の課題

後継者のいない耕作面積は62haに対し、今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積は3haとなっている。地区外を中心経営体が入作しているため、地区内外の中心経営体への集積・集約化を図る必要がある。また、地区内には若い世代の中心経営体が存在しておりこれらの経営体においては、さらに規模を拡大できる可能性がある。

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

地区内外の中心経営体への集積・集約化を進める。  
若い世代の農業者へ農地集積をはたらきかけ、地域の農地全体における営農継続を図るとともに、今後中心経営体として営農できるよう育成、支援を行う。  
畑作地帯については、露地野菜づくりを主とする中心経営体が存在するため、それらの中心経営体に集積集約を進める。